

http://www.e-meisei.net

No. 50 特集号

発行 (社)愛知建築士会名古屋西支部

編集 広報渉外委員会

清須市西枇杷島町南六軒37 みのじの館内

TEL(052)502-0938 FAX(052)502-0939

印刷所 株式会社 ウエルオン TEL(052)732-2227

めいせい

「めいせい」発刊第50号



産業技術記念館



中小田井



四間道



稲葉地公園



ノリタケの森



(社)愛知建築士会
名古屋西支部 支部長
臼井 鏡造

「めいせい」50号 発行にあたって

平成2年9月に名古屋西支部が発足し、初代馬場支部長の強力なリーダーシップのもと、平成3年3月、僅か半年で「名古屋西支部ニュース」と題して支部報創刊号が発行されました。第2号からは「めいせい」と名付けられ、年3回の発行で現在に至っております。

このたび50号記念号の発行を迎えることとなりました。歴代広報渉外委員のご努力の賜物ではありますが、なによりもこれまで支部を支えてくださった会員、賛助会員、広告協賛会社皆様のご支援あつてのことと感謝申し上げます。

私達の支部活動はまちづくり、耐震診断、建築相談など、ますます活動範囲を広げています。こうした情報をいち早くお知らせするため、支部ホームページも立ち上げられました。支部報「めいせい」と役割を分担して情報発信して行きます。「めいせい」50号を迎えるにあたり、これからの支部活動を更に充実し、中身の濃い支部報として行きたいと願っております。

会員の皆様にはご支援ご協力をお願いいたします。



(社)愛知建築士会 会長
市川 三千男

「めいせい」第50号発刊 おめでとうございます。

名古屋西支部の機関紙「めいせい」が第50号を発刊されることに心からお祝い申し上げます。

平成3年3月10日に第1号が発刊されて以来、当時の支部長馬場富雄さんを始め会員の皆様方のご活躍があり今日の50号に繋がったことと改めて敬意を表します。

創刊時より貴支部は常に(社)愛知建築士会のリーダー的な存在であり、愛知万博の誘致活動、地域貢献活動センターへの活発な参加、木造耐震診断等に積極的に協力を行ってこられました。それら多くの活動により行政とより良い関係を保ちながら、地域の住民と共にまちづくりにも多くの成果を上げてこられたことは、私共建築士会にとりましては大いに誇りとするところであります。

さて、今回の建築士法改正、建築基準法改正、建築構造適合性判定制度等、我々建築士のおかれている状況は厳しいものがあります。また建築士会においても建築士登録制度と指定講習会への対応、公益法人としての法人改正に取り組んでいかなければならない時でもあります。そんな中で、近年めざましく発展、飛躍をとげている名古屋周辺は貴支部に所属する地域であり、そのエネルギーの波動が所属会員の元気の源でもありましょ。余りある力を我が愛知建築士会で大いに発揮していただき、前記の諸問題への取り組みにも一層のご協力をお願い致します。

この機関紙は支部会員相互の交流の場であり、支部より発信する唯一の紙面であります。多くの支部活動や委員会活動を始めとして、各建築士が社会の中で置かれている立場を示す羅針盤のようなものでもあります。この「めいせい」によって会員の進むべき方向を示し続けることが使命だと思います。関係者の皆様には尚一層のご尽力を賜りますようお願い致しますと共に、貴支部の益々のご発展をお祈り申し上げます。

「ザ・座談会」

平成19年度 第1回名西支部研修勉強会

まちの風景 名古屋駅地区から 名古屋の未来へ

6月8日TOTOマルチスペースにて

【司会者】コメンテーターの皆様、本日はお忙しいところ有難うございます。最初に自己紹介をお願いします。

【藤井氏】はじめまして、マンションや戸建住宅のインテリアコーディネートをしています。生まれも育ちも豊田ですが、仕事で名駅地区に来ることもあり、私なりの考えをお話できると思います。

【中島氏】こんにちは、西区天神山で生まれ育ちました。コマースフォトを経て建築関係の写真を撮っていますが、ずっと写真修行の気持ちでいます。今日は楽しみにしています。

【安藤氏】はじめまして、会社を立ち上げる前に西区の凸版印刷という会社に勤めており、西区は大変馴染み深く思い出が多くあります。自宅は海部郡で、名駅地区は通勤通学の通過点でしたので無意識でした。大切だと思うことは伝統、歴史から来る精神性です。デザインの師匠の教えは「世の中のゴミになってしまうような物を作るな」です。今日は私なりの捉え方をお伝えしたいと思います。

【川本氏】よろしくお祈ります。生まれは田園風景が広がる春日井市で、学校時代は東区文化の道辺りへ通いました。今は日進市です。仕事で駅前の再開発に関わりつつ、城山・覚王山地区の魅力アップ事業、揚輝荘の保存と活用、等地域の魅力づくり事業にも取り組んでいます。手法としては、伝統、歴史、文化を宝物として見つける方法を探っています。名古屋市東部に住んでいると、用事は星ヶ丘・栄で事足りてしまいますから、名駅地区は馴染みが薄く、「出かける理由が見つげづらい場所」というイメージが強いですね。

【藤田氏】西区で生まれ育ち、今も西区です。総務から掃除電話番号までこなします。4月1日から1週間、名古屋城の石の丸展示館で「花鳥風月」というテーマで展示会を開催しました。フィルムとリードで制作する新しいアートで、新美術新聞にも掲載されました。今日は勉強させていただくつもりです、よろしくお祈ります。

【司会者】有難うございました。風景について幅広く議論する為、異職種のコメンテーターを5名お招きし、前もって名駅地区の気になる風景を4カットずつ撮影してもらいました。藤田さんから順番に写真の説明をお願いします。

【藤田氏】いつも出歩くと古いものがよく目に付きます。
①は四間道にある古い建物を生かした飲食店です。
②は銭湯を改修して居酒屋にしており、背景にツインタワーとミッドランドを入れました。新旧、遠近、高低の対比と共存が好きです。今でもこの様な所が残っているのを嬉しく思います。これは当社で、築80年の民家を改修し、古き良いものを生かしています。「和の美しさ」を大事にして、教室でも「奥行感のようなもの」を指導しています。



①



②



【司会者】当日のまちの様子はいかがでしたか。まちの音、匂い、光の具合など、特に気になったところはありませんか。

【藤田氏】名駅から徒歩で10分程の位置なのに静かでした。

【司会者】川本さん、東区にも同じような地域がありますが、どのように違うとお考えですか、文化の道辺りのことですか。

【川本氏】東区の場合は住環境の中に残っていますね。名駅地区は業務地域の中で、開発されずに取り残されてしまっている。

【司会者】意味が違うんですね。それでは川本さん、お願いします。

【川本氏】③はJRタワーズの2階から。以前は高さ規制のために比較的そろった風景でしたが、今は高さが不揃いになってしまいました。名古屋の古い歴史から見れば、この地域は比較的浅い歴史ですが尊重すべきで、変化の経緯や面影を残すことが必要だと強く思います。④は民家とミッドランドで取り残されてしまったという写真。共存できるかな、生き残れるかな、難しいでしょう。でもこういう風景も残っているとホッとしますね。

⑤はミッドランドの東側。とても大きな壁面があり、反対側のパチンコ屋と対照的です。最後はルーセントへの地下通路。地上と違って「こうするんだ」という意志が感じられます。総合設計等により公共的な空地が出現しましたが、それを関連付けて名駅地区の文化を育てていけると良いですね。「高さ制限が変わったから街の風景も一変しました」という典型的な例が、今の名駅地区なんですよ。



④

【司会者】認識できる高さに囲まれている、空間のスケール感が理解できるという、安心感のようなものが以前は有りました。それがこの地区特有のスカイラインだった、らしさだった、大きな損失ですね。ミッドランドの東側は裏的な感覚で、疎外感があります。安藤さん、次お願いします。

【安藤氏】私は看板を取り上げました。各企業が好きな勝手な色合いのロゴやマーク、カタチを使って看板を取り付けている。⑥はビルの上やスパイラルの背景にもドンと。駅前の一部はすっきりはしましたが、大部分は相変わらず。各企業が連携して名古屋らしいルールを作り、美意識を持つことが必要です。

【司会者】そうするとミッドランド、スパイラル、ルーセント辺りは、看板することを拒否している建物だ

【安藤氏】⑦は歩道から地階へ降りる階段にある看板ですが、歩行者の目線の高さで真正面なんですね。「ちゃんとデザインしようよ」って。



⑥



⑦



③



⑤

ということですか。

【安藤氏】建築物をシンボルと考えている。ただミッドランドは黒っぽくて、大きいイメージが誇張されている気がするので、視野に入りきらないようなビルの色合いは、景観として非常に重要かと・・・。

【司会者】世界に示すシンボルとして必要だったのでは。逆に看板が取り付けられている建物は看板と同化しています、違和感はない。では中島さん、お願いします。

【中島氏】つい最近までミッドランドを知らなかったんですよ。⑦は大きいのがあって聞いてましたが、びっくりですね。撮影時は風が強く歩行者が飛んでいるイメージでした。中に入ろうかと思ったのですが、場違いだと言われてるようで、勇気が出ませんでした。

⑧は、画角に入れる為には柳橋市場まで引いて、ようやく絵になる。ネタとしてはつまらないですね、特に印象はありません。絵解き写真ではないので、座談会に馴染むかな？

【司会者】「画角」という視点はおもしろいですね。⑨は街が線で構成されているのに対し反対側はボリュームがドンとある。最後に藤井さん、お願いします。

【藤井氏】スパイラルが見えるミッドランドの東側が以前仕事を始めた頃の通勤路でした。懐かしいけど全く違う別の空間になっていて不思議な感じがします。②と同じ建物を私も撮りましたが、インテリアデザイナーの鳥居さんが関わっていて、夜になると暗がりになって浮かび上がり、ライティングが上手です。⑩はロンドン郊外にあった教会を移築したもの。周りは「めし」とか雑多な看板に取り囲まれて、不思議な感じでした。

【司会者】質の異なる空間が突然出現する、不協和音が出て滑稽ですね。スパイラルの工事中は変化があって面白いけど、完成したら「振れてるね」で終わってしまいそう。その他に安藤さんが撮られた写真が2枚あります。

【安藤氏】⑪は歩道から地階へ降りる階段にある看板ですが、歩行者の目線の高さで真正面なんですね。「ちゃんとデザインしようよ」って。

【司会者】看板は情報が理解されて「カタチと色の記号」に変化しますね。そういう意味でコントロールする必要がある。⑫は江川線の高架下です。浮浪者の方の日用品をしまい込んであるリヤカー(?)ですが、背景に写っている街の雑多な風景に違和感なく溶け込んでいる、同化しているという写真です。雑多だから気にならない気軽さも有ります。会場からご意見はありますか。

【会場、岡島氏】東京駅前の再開発と比較してみると、名駅地区にはまだ居住人口がかなり有る。就業人口、商業人口、居住人口とが混在していて、古い家屋が残った写真を見ると、まちは建物で出来上がるのではなく、人が作ってるんだなって感じます。

【司会者】空間、場とかは人が関わってこそ出来上がっていく、利用しているコトが行われて、思い出が積み重なって空間が出来上がっていく。とても重要なキーワードですね。「まちづくり」では「まちの人」にも注目されている白井さん、お願いします。

【会場、白井氏】若い頃東京に住んでいましたが、とにかく機能が最優先で生活感がなく、「ここは住む場所ではない」ということで東京育ちの彼女を伴って名古屋に戻ってきました。名古屋は生活感が滲み出ています。「疎外感」というキーワードがありますが、やはり「親しみやすさ」を大切にしたいです。古い物や生活が混在しているところに名古屋の良さが有ると思

特許第2920229
special pet amenity

「ろづくり
杉フローリング」
床暖房対応「松」
フローリング
「光触媒」腰壁板

こりゃいいワン!
たまらんニャ〜!
におワン・ニャー

特許技術による
ペットにとって優しい床

有限会社 ジー・エヌ・エヌ
http://www.gnn-yuka.com
〒452-0902 愛知県清須市助七東山中71
【TEL】052-401-1380 【FAX】052-401-4345

SPEEDY
樹脂製の電動シャッターと比べる
と約3割の減速、さらに静音性
断熱を促進

STYLISH
フラッシュで構成されたアルミ
パネルは、これまでにない美しく、
上品なフェイスデザイン。

使いやすいシンプル!

SAFETY 安全・安心!
難燃・防火・防上り・防落下の多重安全機能
難燃性を確保した安全・安心設計。

文化シャッター株式会社
中部支社 営業推進部

愛知県名古屋市東区泉1-9-22
名古屋BXビル4階 〒461-0001
電話 052-955-2231
FAX 052-955-2551
http://www.bunka-s.co.jp



コメンテーター(順不同)

- 写真家 西区生まれ 中島 計氏
■ステンド硝子アートデザイナー 西区生まれ 藤田 光子氏
■インテリアコーディネーター 名駅地区勤務経験 藤井 直子氏
■Webデザイナー 西区勤務経験 安藤 千絵氏
■都市計画コンサルタント 名駅地区に関わる 川本 直義氏
■司会者 広報渉外委員長 森 登

っています。【司会者】新しい、古い、はカタチだけで捉えがちですが、白井さんのお話には、まちの人への温かいまなざしが感じられます。新しささについて、藤井さんいかがですか。

【藤井氏】インテリアでは、クラシック、モダン、スタイリッシュな家具を組み合わせて調和させる方法を探っています。スタイルが醸し出す独特の空気感を、感性でミックスさせるという手法です。建築の事は詳しくないのですが、調和とバランスがこれからの課題だと思っています。

【司会者】建築の見え方ということで中島さん、コマースフォトと建築フォトとの違いを説明していただけますか。

【中島氏】大雑把に言うと、建築写真は「空間をいかに見せるか」ということです。コマースフォトは「提案する写真」です。例えば「こういう風に使ったらどうですか」というように。

【司会者】竣工写真と竣工後5年の写真と比べて、写真家の立場ではどちらが美しいとお考えですか。

【中島氏】数年も経つと雑多なものが増えますから、多くの場合は美しくないし、人が映っても建築との関係がイマイチですね。空間のみの竣工写真の方が美しい。ただ、人の痕跡や日常の風景が伴って空間が輝いて見えるというのが理想ですが、多くは反対になっている場合が多いです。

【会場、A氏】カタチの美しさでは、新しくデザインされたものが良いという事になっています。ただ、まちについては、藤井さんが言われたように、心象風景や住む人の息遣いのように、そこに在るが故に解り易い、という側面があります。家具やインテリアも同様で古い物は解り易い。中島さんの美しい空間という価値観と、使う人がいて空間の美しさが出るという価値観と両方あって良いと思います。だから新しくても、視界の範囲に入らない、境界線いっばいの壁面がそそり立つ、ボリュームがドンとあるよりは、人が佇むことが出来るようなスペースが有ると良いと思います。憩う、会話する等、徐々に親しみが増して良い建築に繋がって行くのだと思います。

【司会者】使われることを期待しつつ、空間のチカラを信じてカタチを美しく創造しなければならないということでしょうか。ハコモノを提供する側にいる私たちには、耳の痛い話です。次に、その前段階で人の想



-9-



-11-

いや、まちを大切にしていこうね、という志民を育てられている川本さんにお話をお願いします。

【川本氏】そういう意味では、四間道のようなまち空間はやりやすいですね。守っている部分、昔から残っている部分、そこに日常の痕跡が見え隠れする、歴史が感じられる、といった具合ですね。今は昔とずいぶん違うけれど、そこを思い返し想像して、本来まちのあるべき姿みたいなものを高め、結果まちに住む意味を見つけられる。人の教育という意味で資源が町中に散らばっている。ただ、名駅地区はどうやってするんだろうと危惧します。大枠的には企業や名古屋市がまちの絵を描いて、回遊性のある歩行者空間を、地下・地上・デッキ各レベルで検討されているようですが、それだけでは文化は生まれにくいという気がします、通過する人ばかりですから。

しかし通勤者というある種の居住者もいるわけですから、「自分たちのまち」意識で何かを生み出していこうと意思表示することが課題でしょう。そしてスペースをうまくつなげる仕組みを提案することが大切です。その点、栄地区は文化が上手くミックスされています。名駅地区は元気がいいと言われてますが、具体的な人の顔が見えてこない。

【司会者】比較的高所からの目線で議論してきましたが、視点を変えて、もう少し低い目線で自分の視野の範囲、手が届く範囲で物と空間との関わりについて藤田さん、お願いします。

【藤田氏】例えば生き物は植物も含め、成長の過程が見えます。私は全ての物に命があると捉えています。だから建物も空間にも命があると、出来る限り活用しつつあげたい。そして最後は土に帰っていくというようなことを考えています。

【司会者】今後建築の造り方のベースになっていくような話ですね。難しくはありますが、常に意識は持っていなければならない事です。別の視点で、建築とまち空間の色合いについて、安藤さんお願いします。

【安藤氏】先ほどの新しい古いについて考えることがあります。アールデコは古いのですが、当時は最先端で斬新だったでしょう。長い時間を経ても美しいと感じる事が出来る本物には、生命力や楽しさ、人間らしさを感じます。建築物はWebと違い永くそこに在りますから、色合いについても好奇心をそそる派手な色よりも、他との調和やバランスを重んじた考え方が必要かと思えます。

【会場、岡田氏】名駅地区は他の地区に比べてずいぶん遅れた地域で、市民参加、歴史も含めたまちづくりが欠けていると思います。この辺で名古屋市の開発に関して、切り口を厳しくしませんか。

【司会者】それではまず、空間のやり取りについて。東京ミッドタウンは防衛庁の跡地ということもあって、

超高層と広い空き地との対比が面白い。これは敷地があって、その気になれば名古屋でも出来る。一方、あるポイントで記念撮影すると、自分達の姿が遠い建物の硝子面に映り込む仕掛がある。又、ブリッジが建物から突き出て庭に面している。屋上のレストランが庭からよく見える、道に架けてある太鼓橋が樹間に見え隠れする。見て見られる関係、向こうとこっちという関係、絶えず空間同士やり取りがある。これは真似できない。名古屋市内では見つけ難い空間構成です。それと名古屋駅を降りるといきなりブランド店のファサード。建築はそれらの店の背景に過ぎず、バカデカイ長い硝子壁がレクサスデザイン風に。「名古屋の顔がいきなりブランドの買い物かよ！」名古屋に来ていただいた人を迎える顔ではありません。エレベーターのガラス面もタイルの壁面もスケールアウト。結果生まれるのは「疎外感」です。更に外部のまちに対しては全く無関心。

【会場、岡田氏】東京はまちがエリアになっている、まちを作ろうとしているんですよ。アークヒルズ辺りから始まって、文化を作ろうとしています。アイデンティティーですね、名駅地区は点のまま。しかし駅前というのは要求が雑多で、実は東京でもエリアが出来ていないんですね、ターミナルである事も影響しています。名駅地区はトヨタ関連の通勤者が主人公になってエリアが出来る可能性はある。

【会場、B氏】ひとつは緑を作ること。もうひとつはトヨタ自らが、車をこの地域に乗り入れないように、歩行者自転車を優先する。車の会社が車を中心部から締め出す、画期的で世界から注目。いずれにしても企業中心のまちづくりには違和感があるということです。

【会場、猪子氏】僕は全国の商店街の写真を撮り歩いています。名駅地区は商業、交通、ビジネスが混在している為、いまひとつ特徴が解りづらいと思います。現在、発展の中心となっている大企業との対話の可能性を模索する必要があるのではないのでしょうか。

【司会者】名古屋ってどういうまち？若者らしい疑問と激変故に出た疑問、商店街の写真行脚故に出た素朴な疑問です。

【川本氏】私は混在することに期待はしていません。歴史を大事にしているのはむしろ東京駅辺りの方が進んでいる。超高層を建てても保存するかファサードを残す努力をしている。まちを舞台にしたイベントも上手で、芸術祭、音楽祭、陸上イベントだとか。やはり文化を作ろうとしていますね。名古屋も企業が手を結べば良いのですが…。まちの顔を徹底的に作るということがあって良いと思います。超高層が出来てしまっていますが、今から顔を作るということをすべきで、好き勝手に建ててはいけません。今後どういう具合にしていくかをきちっと見えるようにすべきです。

【司会者】まちを作る為の構想の前段階で、まちの人間が「まちづくりの憲章」をはっきりさせることですね。何の為にまちづくりか、自分達はどうしたいのか、結果どのような具合にするのか。「人の顔が見えるまちの絵」が必要で、ココロの構想も必要になるでしょう。文化というソフトと、空間のやり取りというテクニックで、バランス感覚を持ってエリアを関連付けながら育てていく。そこでの主人公は志民で、必要なセンスは、時間軸を含めたヒューマンスケールなのでしょう。時間が迫って参りましたので座談会を終了させていただきます。コメンテーターの皆様、お忙しい中、長時間に亘り誠にありがとうございました。



-12-

百瀬測量登記事務所
土地建物の測量・調査・登記申請
〒452-0044 清須市西枇杷島町南六軒13番地 TEL(052)501-5686
(みのじの館より東へ徒歩1分) FAX(052)501-5689
土地家屋調査士 百瀬 静
土地家屋調査士 百瀬 真代

AICA
自分らしい暮らし、描くイメージを実現する。
AICA MARLESS II INTERIOR SERIES
アイカ工業株式会社名古屋支店
愛知県名古屋市中区千代田3丁目22番22号
TEL: 052-331-4133【代】 FAX: 052-331-6904
URL: http://www.aica.co.jp

新支部長に聞く

白井 鏡造



Q お忙しい中、時間を頂きありがとうございます。最初に新支部長になられた感想をお聞かせください。

A 美濃路まちづくりと裁判所の民事調停委員に多くの時間を割いており、本業にしわ寄せができています。さらに今回、支部長をお受けすることとなり、職責を果たすため今まで以上に頑張らねばと気持ちを引き締めているところです。

Q 活発な西支部の事業で、今後の進め方についてどのようにお考えですか。

A 支部は自己研鑽及び建築士の職能を活用した地域づくりに取り組むための基本単位です。耐震偽装以後、建築士法の改正など、社会は建築士の資質、能力、職業倫理の向上を求めています。研修事業の充実を図り、CPD、専攻建築士制度の定着を後押ししたいと思います。また、木造住宅耐震診断、建築相談、美濃路まちづくり他、建築

士だからできる地域に根差した活動に積極的に取り組んで行くことも重要な事業と考えています。

こうした支部活動に今まで参加されなかった会員のみなさまにも、参加していただける雰囲気づくりを図りたいと考えています。

Q 平成22年には「清須越し400年」になるとのことですが、美濃路と長く関って来られた立場でコメントを頂きたいのですが。

A 清須越しは1610年～13年にかけて行われ、名古屋市は2010年(平成22年)を名古屋開府400年と位置付け、清須市は2012年を清須越し400年としてそれぞれイベントを計画しています。

先日、名古屋市に提出した「西区五条橋橋詰ポケットパーク基本計画案」は、清須越し400年の実現を目指しています。清須にある五条橋の東岸橋詰にも空地があります。地元からの要望もあり今年度、ポケットパーク提案を行い、2012年に同時完成と夢が広がります。実現したら素晴らしい清須越し400年イベントとなります。美濃路まちづくり2市連絡会議を通じ、清須越し移転マップづくりなども含め、官民一体となった事業にしたいと思っています。

力していきたいと思っております。

現在の支部活動として、見学会・研修会等の事業を行っております。支部会員の皆さんに、多数ご参加いただくことが会の活性化にもなりますのでご協力をお願いいたします。

水谷 友彦



本年度、総務企画担当の副支部長を仰せつかりました。

監事の任期を終え、支部での役目も終えたつもりでおりましたが、再度、重責を務めることになり、改めて身の引き締まる思いです。白井新支部長の下、衰える身体にムチ打ちながら、精一杯努力したいと考えています。

1以上の出席により総会成立)を行った後、議事録作成者に森登氏、同署名者に伊藤恒利氏、徳力真治氏が指名され議事に入りました。まず、第1号議案平成18年度事業及び収支決算報告が江口眞樹氏、岡島直樹氏より、続いて監査報告が山田正博氏により行われ、支部旗の作製を追記することを含め、出席者に諮ったところ異議無く承認されました。次に第2号議案平成19年度事業計画案及び収支予算案について、山田宣夫氏、岡島直樹氏より説明があり、出席者に諮ったところ異議無く承認されました。続いて第3号議案平成19・20年度支部役員選任について長谷川隆雄氏により候補者の推薦がなされ、出席者に諮ったところ異議無く承認されました。議事審議を終了し、進行を遠藤昭子氏に交代後、新役員を代表して白井鏡造新支部長の挨拶があり、最後に宮坂英司新青年部長が閉会を告げて本年度の総会が終了しました。

総会終了後、同じ会場にて懇親会が行われ、白井新支部長の挨拶から始まり、賛助会員の紹介などを交えて総会出席者同士、又賛助会員と正会員との交流の場が持たれました。

なりました。CPD制度は、建築士が継続的に自己の能力開発を行い、建築士会が実務と研修の実績を記録・証明し、社会に示す制度です。CPDデータ登録により発行されるCPD個人実績表は、研修の記録として研修種別ごとに実績表に整理されているので、取得単位のバランスを自己管理する上で最適です。また、専攻建築士制度の登録更新時にCPD履修証明(5年間で250単位)が必要となります。詳細内容に関しては、委員会から配送された資料を参考

新青年部長に聞く

宮坂 英司



Q こんにちは、お忙しいところありがとうございます。再登場になりますが、素直な感想は?

A 実際、ちょっと困惑しています。(笑)

こういう前例を作ってしまう事(一度青年部長を経験したものが再度それを行うこと)は、本来は良くない事だろうと思います。しかしながら選ばれた以上は、責任を持って任期を全うしたいと考えています。青年部の皆様のご協力をお願い致します。

Q 役割についてはどのようにお考えですか?

A 難しい質問ですね。とにかく青年部を盛り上げる事ですね。青年部長は雑用係だと思っています。いろいろな青年部行事を決定したり、委員のみなさんに本会青年部からの連絡事項をお知らせしたり。以外と大変な仕事でもあります。

Q 現在の士会、青年部について

A 若い方の参加がメッキリ減っています。現在中心に活動している方々は皆30代です。20代の会員さんに、もっと青年部の行事に参加して頂きたいと思っています。

現在、建築士会会員の高齢化が目立っています。今こそ、若い方々にもっと建築士会に参加していただけるようにと、様々な行事や懇親会、勉強会を開催して行きますので、気軽にご参加頂きたいと思っています。宜しくお願い致します。

名古屋西支部は、県内22支部の中でも常に注目され、着実な活動を続けてきました。これも偏に、歴代役員のご努力と支部会員のご支援の賜物だと思います。今回、記念の第50号を迎えた支部報「めいせい」の発行や会員のための勉強会・研修会及び支部ホームページの充実など、より良い会員サービスを目指しています。

今、業界は厳しい環境の中にあり、会員の減少など会の運営も苦しい状況が続いていますが、これからも会員のご期待に応えていきたいと思っています。

支部総会報告

高倉 康人

去る4月19日ホテルキャッスルプラザにおいて、平成19年度の支部通常総会が、本会より市川三千男会長、丸山和則青年部長をお迎えて開催されました。河田健氏による開会宣言の後、遠藤昭子氏の司会の下、総会が開始されました。初めに長谷川支部長より、昨年度の支部事業への会員に対する感謝などの挨拶があり、2年間の任務を無事完了した旨など挨拶がありました。続いて来賓の市川会長より、西支部会員の地域貢献活動に対する理解と、本会活動の支援へのお礼がありました。又、19年度は本会変動の時代と位置づけし、建築士法等の一部を改正する法律を受けて建築士登録機関としての準備や、会員数減少に対する歯止め策の検討など、本会で特に力を入れる重点事業の説明がありました。

議事に入る前に鏡哲也議長が指名され、定足数の確認(出席者数23名+委任状129名=152名で定足数の5分の

青年部通常総会報告

遠藤 昭子

去る4月19日(木)、ホテルキャッスルプラザにて、支部青年部通常総会が徳力真治氏の司会進行で開催されました。本会青年部長 丸山和則氏、名西支部長 長谷川隆雄氏を迎え、これからの青年部への挨拶をいただきました。

議長には伊藤恒利氏が選出され、議事は18年度の報告に続き、19年度の計画案及び予算案が出され、皆様の承認を得ることができました。

19年度の青年部長は、3年に亘りご活躍いただいた鏡哲也氏から宮坂英司氏に託されました。宮坂氏は2度目の青年部長という事もあり、より活動しやすい青年部になっていくでしょう。

最後に18年度をもって卒業される高倉康人氏に記念品が贈呈され、無事閉会となりました。

仕事や家庭が忙しい青年部世代ですが、その中で協力・相談できる仲間をつくり、共に自分自身も成長できるよう頑張らしましょう。

CPD・専攻建築士 推進特別委員会

委員 内田 秀樹

今年度で専攻建築士は752名(平成19年3月迄)CPD参加登録者は1398名(平成19年3月迄)となり、専攻建築士制度およびCPD制度の維持・充実が重要になってきました。つきましては今年度より専攻建築士・CPD参加登録者いずれの会員も毎年CPDデータ登録をしていただくことに

にしてください。士会事務局に直接お問合せください。

更新間際に取得単位不足にならないように毎年度データ登録を行い、研修種別に研修記録を掌握し専攻建築士更新の準備をする必要が有ると思います。

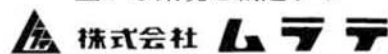
CPD制度に参加登録しているだけでも、消費者には努力した証が公表されます。専攻建築士更新必要単位の取得目標に留まらず、自主的に研修活動に参加し、建築士の社会的信頼確保とスキルアップを目指しましょう。

住宅リフォーム・リニューアル工事、耐震補強工事

集合住宅・ビル・マンション・一般住宅・倉庫・工場・営業店舗

豊かな環境を創造する

テレビ愛知毎週土曜PM6:30 「遊びに行こう!」CM提供中



URL <http://www.murate.com/>

〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通1-51 TEL052-411-8111 FAX052-413-1036 津島(営) TEL 0567-31-0780 名岐(営) TEL052-400-1291

機能やメンテナンス性に加えて、デザインにこだわるなら

こだわりのクオリティ、サンゲツのカーペットタイル



2006-2009 カーペットタイル グラフィック



2006-2009 カーペットタイル プレゼン

美濃路ウォッチング「西区五条橋橋詰ポケットパーク基本計画提案書」提出

美濃路まちづくり推進協議会
会長 中村順吉

5月23日(水)平成19年度美濃路まちづくり推進協議会総会が、新川体育会館小会議室で開催されました。事業報告では、地域づくり団体全国研修交流会「愛知大会」清須市分科会の実施、新川橋橋詰ポケットパーク設計監理協力、清須市まちづくり3会合同研修見学会開催、西区五条橋橋詰ポケットパーク基本計画案などの報告がありました。

5月24日(木)、西区五条橋橋詰ポケットパーク基本計画提案書を名古屋市緑政土木局堀川総合整備室へ提出し趣旨説明をしてきました。このポケットパークのコンセプトは「美濃路に面した五条橋の橋詰として、人々が歴史を感じながら堀川や五条橋の景観と調和し、休憩できるポケットパーク」として、「歴史ある共同物場場を背景に、船着場として利用することも提案しています。

西区「ものづくり文化の道」では四間道、円頓寺界隈の活性化を図っています。円頓寺商店街でも早く

から、船着場の実現を求めています。2012年は清須越し400年となります。また、清須市の五条橋東岸橋詰にも小さな空地があり、そこに「清洲の前田利家とまつ」の説明板(私達協議会が文章作成)が立っています。ここにも今年度ポケットパークの提案を行ない、西区五条橋と共に2012年の同時完成を目指します。清須越し400年のすばらしいイベントとして実現できたらと期待しています。

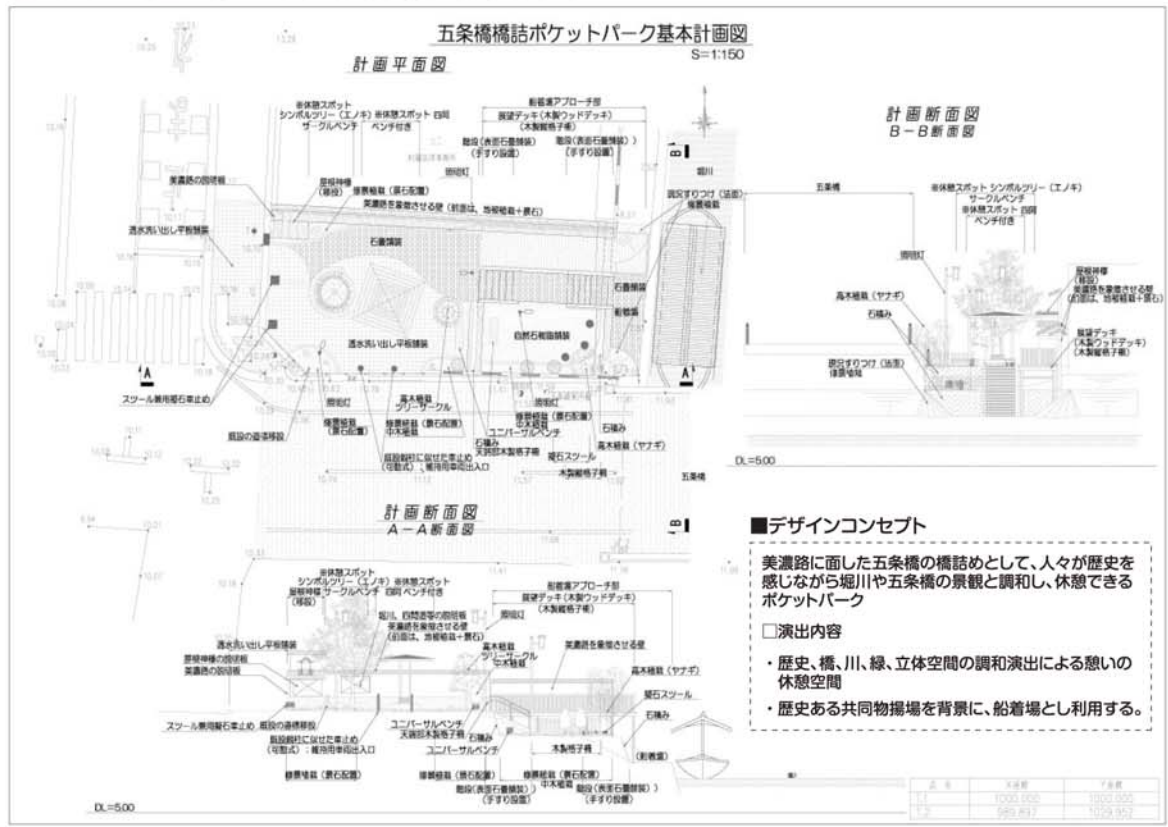
6月2日(土)尾張西枇杷島まつりにて、「みのじの館」を開放しました。国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所所長はじめ関係者、愛知県総務部長はじめ担当課長、県会議員、甚目寺町長、地元清須市長、同議長、市会議員、担当職員を含め多数の関係者を受入れ、懇談することができました。一時は狭い館に入りきれず外に立って懇談ということもありました。今年は山車蔵も2棟新築され、天気にも恵まれ、にぎやかなお祭りとなりました。

学生のコラム

名古屋大学 大学院
法学研究科 博士課程前期
1年 猪子 雅和

自分の趣味は旅である。しかし、それは観光地をまわる旅ではない。まちをひたすらじっくり歩き、デパートの中、路地裏、商店街、交通機関…各都市の人々の生活にできるだけ溶け込んで、生活実感を味わうことを大切にしている旅である。

今回、その旅の一つとして初の海外となる上海シティに行く機会に恵まれた。様々な形の高層ビル群、ハイテクなまち並み、巨大デパート、不安定な交通ルール、飛び交う中国語、刺激的であり同時に日本の都市を客観視するいい機会ともなった。その中で最も自分の頭に焼き付いたことは「まちの彩」である。大都市上海のまちでは看板からビルの装飾、野菜、果ては雨具にいたるまで赤・紫・黄色・緑といった色に溢れていた。どんなに昼間は無機質な巨大ビル群でさえ、夜は色とりどりのネオンに包まれる。初めて見たときそれらがセンスのない「けばけばしいもの」にも思えた。しかし、時間が経つに連れて、活気があり、個性があって魅力的なものに感じられた。名古屋に帰ると初めに名駅の高所からまちを見渡す。そこには黒・白・オレンジの三色の夜景が待っている。名古屋らしいとも思ったが、少し寂しく静態的である。上海と同様に高層ビルが建ち始めた名古屋が今後どうなっていくのかに期待している。是非、もう少しの「彩」を加えて人々がワクワクするまちになってほしいと思われた。学生の間にまた世界のまちに出逢いたい。



わたしのおすすめ

Big Island ハワイといえばホノルルのあるオアフ島が有名ですが、私はハワイ島のことを紹介します。ハワイ州で人々が自由に観光・居住できる6島のうち最も大きな島がハワイ島です。世界遺産のキラウエア火山公園があり、「地球上、最も新しい大地へようこそ」という広告があるように、流れる真っ赤な溶岩を追うハイキングなどが人気です。四国の約半分の面積を持ち、今なお成長し続けるこの島は一日で回りきれません。ハワイは地球のヘソといわれる位置にあり、ハワイ語でマナという自然からのパワーが集まり心身を癒す島といわれています。溶岩が駆け抜けて出来た洞窟の中では、自分のオーラを見られるとされるパワースポットもあります。また溶岩熱の温泉や神に捧げるフラ観賞、ロミロミというハワイのマッサージなどここならではのハワイを堪能できます。日系移民の多い島なのにオアフ島ほど日本人に会わず、それでいて故郷に里帰りしたような懐かしい風が流れる、心地のいい島です。私も旅の疲れなどをすぐ忘れて、ハワイ島名産のコナコーヒーを飲みながら、またいつかあの大きな空の下で昼寝したいなあと考えています。買物や観光だけでなくゆったりとした時間に癒されたい方へ、一押しハワイです。

お風呂場で 家族いっしょに 大合唱

お風呂場では、家族いっしょに大合唱。お風呂に入っている時に考えました。もっと大きければ歌ったり、あはれたりできるなと思います。

●掲載作品には図書券プレゼント。
住所氏名、ペンネームを書いて事務局へ FAX 052-502-0939
支部ホームページでも募集しています。

黎宝珠(中)

山歩き同好会 富士見台～横川山 往復縦走 岡田 巖



5月13日恵那峡SAに集合。古代・中世の官道であった神坂峠が登山口だ。萬岳荘を横目にして稜線に出るまでの階段状の坂を黙々と登る。30分程で富士見台に到着するが、曇天で霧の中、風が強くて寒い。即横川山へむかうことにした。登山道の脇に根曲がり竹が群生しており、指を真黒にして採取を楽しみました。横川山での鳥の囀りを聴きながらの昼食が済んだ頃、視界が開け晴れてきた。復路で稜線の登山道からの眺めは、群生している熊笹が、まるで海原のようで美しい。横川山(1620m)、富士見台(1739m)の山頂からは、中央・南アルプスを始め恵那山・伊吹山などを望むことができる。360度、大パノラマのすばらしい眺望でした。山歩きた人の満足感です。“山歩きに興味ある人、参加して下さい。”

名古屋西支部 新入会員紹介

平成19年6月

地区	氏名	生年	自宅住所	自宅TEL	勤務先
西	村瀬 好毅	S51	〒451-0064 西区名西2-2-2	(052) 501-5144	(有)村武技建
西	松尾 広次	S33	〒451-0152 西区栄生3-16-14 トウミルアス505	(090) 2196-3998	イオンデパート(株)
西	箕田 知之	S57	〒452-0803 西区大野木4-71 サンチェリー大野樹205	(090) 9931-0240	愛知工業 高等学校
中村	渥美 大作	S48	〒453-0801 中村区太閤1-11-16 ノーサレンダー319	(090) 1236-0826	(株)沢田工務店 名古屋支店

住宅都市局機 納品用 電子データ作成致します。

データ出力はウエルオンデマンドで 上質、トレ、和紙などのデータ出力はウエルオンデマンドがお得です!!
17ファイル200MBまでのデータ送信可能
納期の短縮
Web 割引
メールにはないセキュリティ
登録無料

設計図・工事完成図イメージデータ作成(TIFF) 必要なもののみご注文も可能です。お気軽にご相談下さい。

提出用CD-RW・CD-R作成
イメージデータ一覧表作成

株式会社 ウェルオン お問い合わせ先 TEL:052-732-2227 FAX:052-733-3178
URL http://www.well-on.co.jp e-mail honbu@well-on.co.jp

建築基準法解説シリーズ

令第46条の解説

解説担当 馬場 富雄

先回に続きまして第4項表2の説明を進めさせていただきます。今回は耐震壁の必要量を示す数値が過去2回にわたって訂正されてきた理由と、それに伴う問題点について若干の私見を交えてお話しをしたいと思います。

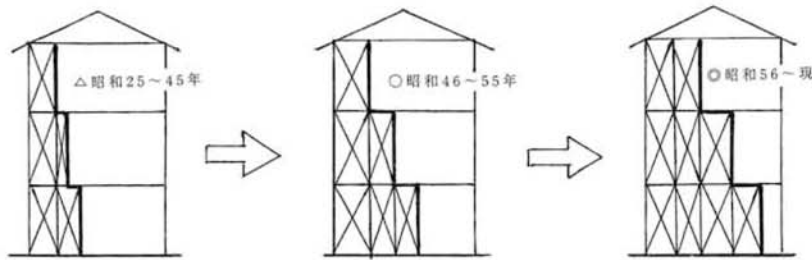
令第46条第4項 表2

屋根金属薄板等 屋根日本瓦等

建築物の表の(一)に掲げる	第四十三條第一項の表の(二)に掲げる	建築物	階の床面積に乘ずる数値(単位:cm ² /m ²)	
			平家建	2階建各階
△ 8 ○ 12 ◎ 11	△ 12 ○ 15 ◎ 15	階数が1の建築物	△ 8 ○ 12 ◎ 11	△ 12 ○ 15 ◎ 15
		階数が2の建築物	△ 12 ○ 21 ◎ 29	△ 16 ○ 24 ◎ 33
△ 8 ○ 12 ◎ 15	△ 12 ○ 15 ◎ 21	階数が2の建築物	△ 8 ○ 12 ◎ 15	△ 12 ○ 15 ◎ 21
		階数が3の建築物	△ 16 ○ 30 ◎ 46	△ 20 ○ 33 ◎ 50
△ 12 ○ 21 ◎ 34	△ 16 ○ 24 ◎ 39	階数が3の建築物	△ 12 ○ 21 ◎ 34	△ 16 ○ 24 ◎ 39
		階数が3の建築物	△ 8 ○ 12 ◎ 18	△ 12 ○ 15 ◎ 24

△ 昭和25～45年
 ○ 昭和46～55年
 ◎ 昭和56～現在

【表2の解説】数値改正の経過は△○○印で示してあります。まず第1回の改正は、あの昭和46年の建築基準法始まって以来の大改正と言われた時です。単体規定では非常用の進入口と照明、排煙区画と排煙設備が特定の建物に義務付けられ集団規定では、あの有名な容積制限が導入されました。構造規定もこの大改正に乗じて若干改正され、今お話ししている木造規定も過去の大地震の経験などから、耐震壁量の強化がはかられたのです。この時の改正のメインは建築設備と用途地域関係だったのですが、次の昭和56年の大改正は、まさに主役が構造関係でした。(当時の俗称「新耐震設計」)



これは建築構造の考え方の大革命でした。層間変形角、剛性率、偏心率規制の導入、地震力算定では建物の固有振動周期と地盤の卓越周期の関係を導入、更に建物のむちふり現象に伴う上階部の地震力の強化がはかられ、最後に保有水平耐力の考え方もはりました。木造といえども、この考え方に沿って大改正されたのです。すなわち層間変形角を満足し、むちふり現象を考えた規制となり耐震壁量の大増量となって条文が改正されたのです。この耐震壁量の強化が如何に大きかったかを図示しておきます。ここで一寸お話ししておきたいことがあります。なぜこのように何度も何度も改正してゆかねばならないのでしょうか？ミノモンの「朝ズバッ」ではないのですが、一発で「ズバッ」とゆかないものなのでしょうか？ここに耐震技術発展の宿命があるのです。建物の構造は複雑で特に雑壁の効果はわからないのです。いくら建物の耐震を理論解析しても必ずそうなるという断定は出来ません。結局地震がきて初めて耐震度が立証されるのです。ですから大地震の度に経験として規制を強化してゆきしか、国民を納得させる方法がないのです。最近日本にも長周期地震が起きるのではないかとささやかれ始めました。しかし起きる前に予想だけでは手が打てません。結局起きてから、今後こうしようという法改正になってしまうのです。そこで話を戻しまして昭和56年の新耐震基準の内容については、すでに学者の中では現象としてわかっていた事なのですが法律の中へ公式として入れるには解析が不完全で出来なかったのです。現象としては解っているのに規制出来ない現実長い間、学者、行政担当者は悩み続けました。その不可能が可能になる時がやっと到来しました。それはコンピューターの出現です。人力では及びもつかない莫大な計算をあっ

という間にこなせるのです。新耐震基準に光が見えてきたのです。この時期の建設省の迫力はものすごいものがありました。我々地方の担当者が東京へ集められ「この新基準が実現することで建物の耐震が強化され、たくさんの国民の命を救うことになる。それには金がかかる。国でも予算を要求するが、とても要求通りつかないの皆さんの地方で上手に予算要求をしてお金を東京へもってきてほしいとの大号令がかけられました。これがまさに名案だったのです。幾ら出すかという事が各行政庁間で情報のさぐりあいとなり、私共が財政局のヒアリングに「〇〇市はこれだけ予算をつけるといっています。名古屋市も恥をかくわけにはまいりません」という調子で予算をつけてもらいお金を東京へ送りました。「私共は負担しません」という行政庁はなく「国民の命を守る」という大義名分も立派で各行政庁があまり少額で恥をかいてはいかんということで、その東京へ送られたお金は全部で莫大なものとなりました。これによって学者の理論解析と実験が着々と進み晴れて法律の中へ新基準がはいったのです。

「建築行政への私見」

今までお話ししたように規制があとからあとから変わることは止むを得ないことだと御理解いただいたと思いますが、建築主側からみますと、とんでもない話なのです。当時の耐震基準の法律を守って建てたのに、突然新基準に変わり、昨日までの合法の建築物が今日から法律に適合しない危険建築物になって放置されてしまうのです。建築主にとってはなんの罪もなく「だまされた」という気持ちになるのも無理はありません。行政側は、これに「既存不適格建築物」という優遇措置があるかのような立派な名前をつけていますが構造関係の危険建築物に対して適切な施策を打っていません。人命を守るのが行政の大事な責任である以上、なんとかそれらの建物に対して改修工事等に助成をする責任があると思います。多額の助成が難しいなら、長期間かけて助成するのは如何でしょうか。私見ですが、私は思い切って改修工事を行う方に対して、その工事費だけ何十年かかっても固定資産税を免除したら如何かと思えます。国会議員、地方議員の皆さん是非真剣に考えて下さい。

春 夏 秋 冬

岡島 直樹

少し前に「人は見た目が9割」という本がベストセラーになった。建築に関わる者として、建物の「見た目」はやはり気になる場所である。最近の情報雑誌で建築、特に住宅の特集が多く見られるが、ここでもやはり「見た目」がかなりのウエイトを占めている。もちろん記事には、コンセプトや技術の紹介なども書かれているが、その「良さ」

がなかなか伝わってこない。また、クライアントからの信頼を得るポイントの一つとして、身なりといった「見た目」も重要である。私も気を付けているが、暑い季節は、気が緩むので注意が必要だ。しかしながら、この本の意図するところは、「見た目」を磨くことだけに重点を置くことではない。中身を磨き、「見た目」を磨けば最強ということである。私も「見た目」だけでなく、人間性や建築に対する姿勢を磨きたいと日々反省している。

編集後記

益々住みにくく変貌するまち、自分が住んでいるまち空間を再認識する為に名駅地区を取り上げました。会場で交わされた多くのキーワードを、会員の皆様の地域にフィードバックしていただきたいと思えます。名駅地区は激変の渦中であって丁度良い題材であったと自負しています。皆様の多くのご意見ご批判をお待ちしております。

広報渉外委員長 森 登

ドームからテントまで
 世界中で大空間構造物にチャレンジ

太陽工業株式会社

東京(03)3714-3331・名古屋(052)541-5111・大阪(06)306-3111
 札幌・仙台・広島・福岡・アメリカ・台湾・シンガポール・ドイツ
 インターネットアドレス <http://www.taiyoko.co.jp>

超高強度軽量コンクリート製OAフロア

ネットワークフロア - Eco 29/40

エコマーク認定番号 第03123060号

共同カイツック株式会社 <http://www.ky-tec.co.jp>

(中部FS営業所) 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-8 TEL(052)581-0204

シロアリ予防と高級なベランダ防水(水性塗膜)

木を愛し、住まいを守る **アイキ** 株式会社

(旧社名 株式会社 中部しるありセンター)

本社 名古屋市天白区八事天道913番地 Tel.052-834-1010(代)
 代表取締役 田中 研一

建築関連資格の最高峰 **建築士** ライブ講師+マンツーマン指導

人気の国家資格にチャレンジ **宅建** 「理解」に重点を置いた指導

1級建築士
2級建築士
宅地建物取引主任者
1級建築施工管理技士
1級土木施工管理技士

建築士・宅建受験の名門 **総合資格学院** <http://www.shikaku.co.jp>

名古屋校 TEL.052-202-1751 岡崎校 TEL.0564-57-8161
 小牧校 TEL.0568-42-1211 豊橋校 TEL.0532-57-0311